

令和元年度 東海農政局農業農村整備等事業技術検討会（第3回）

日時：令和元年7月16日（火）13：30～15：00

場所：名古屋農林総合庁舎2号館3階研修室

●参加委員

飯尾 歩 氏 （中日新聞社論説委員）

千家 正照 氏 （委員長、岐阜大学大学院連合農学研究科長）

徳田 博美 氏 （名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

増田 理子 氏 （名古屋工業大学工学部教授）

水谷 香織 氏 （パブリック・ハーツ（株）代表取締役）

（敬称略 五十音順）

●東海農政局

南農村振興部長

島村地方参事官（事業計画関係）

渡部設計課長

栃沢農村計画課長

深見土地改良管理課長

山田農村環境課長

北川事業計画課長

石田水利整備課長

中谷土地改良管理課 農政調整官（開発）

1 開会

【深見土地改良管理課長】 ただいまから令和元年度東海農政局農業農村整備等事業技術検討会（第3回）を開催いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます、東海農政局土地改良管理課の深見と申します。

ではまず、本日の配付資料を確認させていただきます。

上から順番に、議事次第、資料1の出席者名簿、資料2の第2回技術検討会における意見及び対応、資料3の地区別評価結果書（案）、資料4の基礎資料（案）、資料5の事業の

効用に関する説明資料、資料6の関係団体への意見聴取結果となっております。

それでは、開会に当たりまして、東海農政局農業農村整備等事業管理委員会委員長の南農村振興部長からあいさつを申し上げます。

【南農村振興部長】 本日はお忙しい中、本技術検討会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

第1回技術検討会において事業概要及び現地調査、第2回技術検討会において費用と効果についてご審議いただき、今回の技術検討会では技術検討会の意見を取りまとめたこととなっております。これまでいただいたご審議の内容や、今回新たに追加しました関係団体の意見を踏まえまして技術検討会の意見をいただければと考えております。よろしく申し上げます。

【深見土地改良管理課長】 それでは、議事進行につきましては千家委員長にお願いいたします。

【千家委員長】 今日は前回の検討会で出された意見に対する対応とタイトなスケジュールの中で各委員から意見をいただきました技術検討会の意見のとりまとめを行うこととなっております。よろしく申し上げます。

2 議事

【千家委員長】 それでは、議事次第に従いまして、議事を進めたいと思います。

(1) から (3) をまとめて事務局より説明願います。

< (1) ~ (3) 中谷農政調整官 資料説明 >

【千家委員長】 (1) から (3) までの説明をいただきました。

それでは、質疑応答に入りたいと思います。何かありますでしょうか。宜しいでしょうか。前回の指摘に対して適切に対応されているということによろしいでしょうか。

それでは、次の議題(4)の技術検討会の意見のとりまとめに入ります。とりまとめは別室において30分程度の時間をいただいて、委員のみで行いたいと考えていますので、よろしく申し上げます。

[委員は別室において意見とりまとめについて審議]

【千家委員長】 議事を再開します。

技術検討会の意見を取りまとめましたので、事務局から読み上げていただきます。

【事務局】

(技術検討会の意見を読み上げ)

【千家委員長】 農政局からこの内容について、何かご意見等がありましたらお願いします。
費用対効果についてはこの事業に対するものではなく、今後の提案事項です。

【島村参事官】 割引率4%の設定についてはマニュアルに長期国債利回りを基に決めなければならないとされていますか。

【中谷農政調整官】 そうはなっていません。

【島村参事官】 長期国債利回りが平成元年では4%であったかと思いますが、現在ではマイナス金利の状況にあります。割引率は長期国債のみで決めていくものではないということをご確認いただければと考えています。マイナス金利ですと将来の金額が上がってしまう可能性もあります。

【徳田委員】 長期国債4%が根拠という説明であったので、今の段階ではほぼ0となっている状況で使用している妥当性も含めてある程度根拠を明確にしないとあいまいになってしまうと思います。

【島村参事官】 長期国債利回りを根拠にすべきだというご指摘ではないということですね。「根拠を明確化にするとともに」のような言い方が宜しいのではないのでしょうか。

【水谷委員】 現在の割引率4%の根拠は何でしょうか。

【中谷農政調整官】 長期国債利回りを参考にしています。

【島村参事官】 「平成元年当時の」や「マニュアル設定時の」というような文言を追加した方が根拠が分かりやすくなるのではないのでしょうか。

【千家委員長】 「マニュアル設定時の」を追加するということでしょうか。

【水谷委員】 財務省の過去の金利情報によりますと、数字が最後に見られたのは平成5年から7年の間です。

【島村参事官】 長期国債の金利が4%であったのは平成元年位だと思います。

【南農村振興部長】 割引率が将来の不確実性を踏まえて設定されているという意味では、

将来の価値に掛かる不確実性が金融政策によって変動する国債の利回り次第でころころ変わるということは変かなと思いますが、ご意見ですし、そんなに違和感はないと思います。

【徳田委員】 当時は実態だったので良いのですが、現在は4%と乖離している中で割引率の根拠が国債だけですと説明できないと思います。4%の妥当性はまた別の話だと思います。

【島村参事官】 長期国債の利回りだけを基に見直すのではないということが共通認識であればよろしいかと思えます。

【水谷委員】 今回の割引率の設定が実態と乖離していることから、実際計算してみると数字が大きくなりすぎたりとか、今の数値とは大分異なる可能性があり、B/Cが1を超える超えないが出てくると思いますし、超えるにしても数値がものすごく大きくなりすぎたりして、実際の効果の乖離についても問うべきだと思っております。

【島村参事官】 割引率を見直した場合、最終的な正確な事業効果の評価に繋がってくるということですね。

【水谷委員】 算定方法自体が1を超えるから良いという評価で終えてほしくなく、是非数値が大きく変わりうるものだとして一つの評価指標として考えられることが宜しいかと思えます。

補足ですが、この事業の評価という意味では4%の割引率は宜しいかと思えますが、マニュアルの作成されるところにフィードバックしていただければと思います。

【島村参事官】 ご意見は農林水産省の方に報告されますので、その結果、フィードバックがあればご報告していくことになります。

【千家委員長】 B/Cが1を超えることは必要条件であり、色々なことを考慮してこの事業を判断するものであり、これだけで決まるものではなく、受益者や関係団体の意向も踏まえて行っていくものです。

他に何かありますでしょうか。それではこれを技術検討会の意見として提出します。

最後に、議事次第（5）のその他について事務局より説明願います。

【中谷農政調整官】 今後の予定としまして、7月末に東海農政局長より農林水産省へ報告、8月末に農林水産省及び東海農政局のホームページにおいて公表を予定しております。

【千家委員長】 ただいま事務局から説明がありましたが、全体を通して何かありますでしょうか。

それでは以上をもちまして、技術検討会の全ての議事を終了しました。最後に本委員会の委

員長として審議終了に当たり一言挨拶いたします。

3回というタイトなスケジュールの中でお疲れ様でした。また、我々技術検討会の意見が土地改良事業に貢献できればと思っております。今後ともよろしく申し上げます。

【深見土地改良管理課長】 千家委員長におかれましては大変お疲れ様でした。また、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中ご出席いただき、長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。

閉会に当たりまして、当局事業管理委員会副委員長の島村地方参事官から、ご挨拶を申し上げます。

【島村参事官】 本日は千家委員長をはじめまして、皆様にはご審議及び意見のとりまとめをいただき、感謝申し上げます。本日は国営事業としては最後の技術検討会とはなりましたが、農林水産省としましては、事後評価結果に対していただいたご意見、ご質問を踏まえまして、地元のフォローアップや今後の農業農村整備事業の執行等に生かしていきたいと思っております。また、評価書に記載いただいたとおり、近年、農地の集約化に向けた中間管理事業の見直し等の制度改正がなされており、これを踏まえた一層の取組を進めていきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、地域の実態に即しつつ、引き続き農業農村整備事業の推進につきましてご指導ご支援をいただきたいと考えております。

本日は誠にありがとうございました。

【深見土地改良管理課長】 以上をもちまして、令和元年度東海農政局農業農村整備等事業技術検討会（第3回）を閉会いたします。

【了】